

国立大学法人九州工業大学経営協議会議事要旨（令和4年度第2回）

開催日 令和4年6月16日（木）
 場所 GYMLAB02Fカンファレンスルーム、オンライン
 出席者 【対面】 鶴飼委員、小笠原委員、高原委員、宮武委員（五十音順）、
 学長、理事（教育・DX担当）、理事（教育接続・連携PF担当）、理事（研究・社会連携担当）、
 理事（総務・経営改革担当）、理事（ダイバーシティ&インクルージョン担当）、工学研究院長、情報工学研究院長
 【オンライン】 麻生委員、井上委員、久保田委員、嶋田委員（五十音順）、
 生命体工学研究科長、教養教育院長
 列席者 近藤監事、林田監事
 会議成立 構成員21名のところ、18名の出席により定足数を満たしていることが確認された。

議題	NO	議題	結果	主な意見
議題1	(審議事項)	国立大学法人評価 第3期終了時評価に係る報告書（案）について	承認。 修正内容については議長に一任とする。	<p>○P4 遠隔授業やシステムの導入等は手段であり、当該手段を取り入れたことによる結果まで記載した方が読んでもらえるのでは。（学外委員）</p> <p>○受賞等の評価を受けた部分が学生にとって重要である旨を記載する等、もう少し強調して記載した方がよいのでは。また、創立百周年の際に開始された学生支援プログラムの資金が終了する時期に来ており、大学基金への継続的な収入があるかが課題となってくる。学生への支援を続けていただきたいが、どのように考えているか。（学外委員）</p> <p>→GYMLABOを開所し、企業の参加により収入を得る形を作っている。また、企業との共同研究による間接経費等の収入も増加しており、好循環させる戦略を検討している。寄付のみに期待するのではなく、多様な財源を持ち、いかに投資し、いかに回収していくかを考えている。（学内委員）</p> <p>○新学長の就任に際して、卒業生の満足度の向上、チームで動く、決定のスピードを重視するなど、重要なことを具体的に示しているので、9月頃に部局ごとや教員ごとのフィードバックなどをしてはどうか。新体制の立ち上がりを全体で盛り上げていただきたい。（学外委員）</p>
議題2	(審議事項)	経営協議会から選出する学長選考・監察会議委員について	原案のとおり承認。	
議題3	(報告事項)	令和3年度決算について		
議題4	(報告事項)	ITエンジニアリングスキルアップ講座について		<p>○学生にとって良い取り組みだが、OBOGにとっても九工大とのリンケージがあり、学生との交流により得られるものもあり、九工大の魅力となる。（学外委員）</p> <p>○日本の教育が読み書きそろばんに徹してきたことが日本の衰退の一因と言われており、コミュニケーションやプレゼン力がなかったため、コミュニケーションの機会を持てる点が良い。それ故にITエンジニアに注力してしまうのはもったいないのでは。企業からするとITスキルは手段なので、コミュニケーション力、プレゼン力、実践的な考え方の方が魅力的だと感じる。（学外委員）</p> <p>→対象は変えていきながら、学生の興味や企業との繋がりも踏まえて考えていきたい。（学内委員）</p> <p>○若手社員との会話において、新入社員は電話を受ける（話す）ことを嫌がるという話を聞いた。ITが栄える結果として話さない社会になっているが、社会人になる過程において話す能力は重要だと考える。（学外委員）</p>

議題	NO	議題	結果	主な意見
議題 5	(報告事項)	大学発新産業創出プログラム(スタートアップ・エコシステム形成支援)への採択について		<p>○既に金融機関を中心にした民間の同様な仕組みはあるが、仕組みだけではなかなかうまくいかない。各大学の教員や研究者が大学の研究と民間のニーズを検討し、既存の仕組みとの差別化を図る必要がある。(学外委員)</p> <p>→教員のベンチャーへの関心の程度やテーマの発展性など、URAによりヒアリングして発掘したいと考えている。(学内委員)</p> <p>○現在、社会的にカーボンニュートラルの重要性が増しているため、今後関連性を持たせても良いのでは。(学外委員)</p> <p>○ヘルスケア産業も今後発展していく分野。研究と商品・システム開発のマッチングは難しい部分もあるが、大学側でも検討してほしい。(学外委員)</p>
議題 6	(その他)	GYMLABOおよびポルト棟の開所について		<p>○学生同士の交流は進むと思うが、GYMLABO利用についての企業や市民のニーズ、どのように参画していただけるかを調査されては。(学外委員)</p>